

事務事業名		公共下水道管路施設管理事業		会計	下水道	実施区分			
H28担当課等名		下水道課		事業種別	経常	開始	S25	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
		施策	45	居住基盤の向上					
目的	対象(誰・何を)	公共下水道処理区域内(飯田・上郷・伊賀良・鼎・松尾・座光寺・川路・竜丘駄科・山本の一部A=2,825ha)の管路施設			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	・当市の公衆衛生の向上、あわせて公共用水域の水質保全 ・施設の適正な維持管理を行う				管路延長(m)			497525
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度				マンホールポンプ数(カ所)			102
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	適正な維持管理を達成した延長(m)			497525	497525	532771	532771	平成27年度台帳補正成果及び特環山本地区の編入による
	成果指標	達成率%(適正な維持管理を実施した延長/全体管路延長)			100	100	100	100	
定性目標									
事業概要	第1次飯田市下水道事業経営計画に基づき、公共下水道管路施設を適正に維持管理する事業。								
	・処理区域	飯田・川路の2地区							
・認可区域人口	79,300人								
・認可区域面積	2,825ha								
・管路延長	532,771m								
	※平成27年度末、特環山本地区が公共飯田処理区に編入され対象数量が増加する								
事業内容					名称		活動指標		
27年度事業内容	1	下水道管路維持管理			1	維持管理管路延長		1 L=497,525m	
	2	マンホールポンプ維持管理			2	マンホールポンプ基数		2 102基	
	3	他事業関連工事			3	布設替路線数		3 5路線	
	4	人孔補修工事(他事業関連工事を含む)			4	補修実施人孔基数		4 134基	
	5	新設公共樹設置工事			5	新設公共樹設置カ所		5 90カ所	
	6	公共樹補修工事			6	コンクリート製公共樹取替カ所		6 104カ所	
	7	マンホールポンプ補修工事			7	マンホールポンプ補修カ所		7 17カ所	
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		205,629	213,677	175,076	182,003	[28特定財源] (そ)共同引込管負担金405千円 (そ)使用料181,598千円			
国庫支出金						[27特定財源] (そ)共同引込管負担金405千円 (そ)手数料1,568千円			
県支出金						(そ)諸収入110千円			
起債						(そ)使用料172,993千円			
その他		205,629	213,677	175,076	182,003	打切決算に伴う未払金455千円			
一般財源						[26特定財源] (そ)共同引込管負担金405千円 (そ)手数料1,338千円			
人件費計(千円)②		25,032		22,529					
正規職員所要時間		7,000		6,300					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		230,661	213,677	197,605	182,003				
事業内容・目標達成状況の振り返り		管路施設の適正な維持管理を実施し、トラブルを未然に防止するとともに事故等には迅速確実に対応することにより、快適に下水道を使用いただくことができた。また流量計を利用した調査により、不明水浸入箇所を特定し補修を実施した。今後も維持管理履歴や各種データを蓄積し、維持管理データベースを活用した効率的な事業を展開する。							
改革改善の考え方	①問題点	平成25年度に公共下水道事業の整備が完了し、維持管理の時代へ移行している。今後は施設の老朽化に伴う改築修繕費の増大が予想される。							
	②改革提案	H25年度策定の第1次飯田市下水道事業経営計画、管路長寿命化及び地震対策計画に基づき事業を実施する。また維持管理データベースを活用した各種調査結果や維持管理履歴の蓄積により、計画的・効率的な維持管理を行う。							